

北海道医師会・北海道獣医師会連携

『One World, One Health』

人と動物、ともに健やかに生きるためにできること



市民公開シンポジウム開催

人の健康管理には動物と環境（野生動物を含む）を包含した対策の必要性が求められています。そこで医療ならびに獣医療における現状と課題を整理し、医療・獣医療関係者、一般市民がそれぞれの立場で対応を考える機会としてシンポジウム開催します。

日時：平成30年
4月15日(日)
14:00～16:00

参加料：無料

*裏面申込書にご記入の上お申込みください

締切日 4月10日(火)

北海道医師会事業第三課 (TEL 011-231-1432)

北海道獣医師会事務局 (TEL 011-642-4826)

場所：北海道医師会館(8階会議室)
北海道札幌市中央区大通西6丁目

講演

対象：医師、獣医師、医療関係者、獣医療関係者、一般市民の方

座長 北海道医師会 常任理事 三戸 和昭

①ダニ媒介性人獣共通感染症ウイルスの基礎 ～ダニ媒介性脳炎と重症熱性血小板減少症候群～

北海道大学獣医学部公衆衛生学教室准教授

好井健太郎 先生

②ダニ媒介性脳炎患者の治療経験

1.【死亡症例】市立札幌病院 神経内科部長

田島 康敬 先生

2.【回復症例】北海道医療センター 神経内科

中村 雅一 先生

③総合討論

*ダニ媒介性脳炎は北海道で発生する重要な人獣共通感染症です。また重症熱性血小板減少症候群は今のところ北海道で発生していませんが、最近、イヌとネコを介してヒトの感染が報告されており、北海道の医師、獣医師は是非とも知っておいてほしい新興感染症です。

主催：一般社団法人 北海道医師会 / 公益社団法人北海道獣医師会 後援：北海道